

ADSL とパソコンの接続

機器の準備

有線 ADSL でインターネットに接続するには、以下(1～4)の機器が必要です。
ADSL 宅内工事(ADSL まで)費用として 10,000 円必要です。
LAN 工事(ADSL からパソコン)に関しては別途工事費用が必要です。

1. パソコン



インターネットを閲覧するための端末です。
デスクトップ型、ノート型どちらでも使えますが、搭載されている OS が TCP/IP 通信に対応しており、なおかつインターネット閲覧ソフトがインストールされている必要があります。代表的な OS に Windows 98 や MacOS, Linux があります。

2. LAN カード



パソコン同士をつなぐためにパソコン本体に装着する部品です。
TCP/IP という通信規格でインターネット上のコンピュータと通信します。
パソコンとの接続方法により、複数のタイプが存在します。
一般に、デスクトップ型パソコンの場合は内部の PCI スロットに組み込む PCI カード型、ノート型パソコンの場合は PCMCIA スロットに挿入する PC カード型を使います。
機種によっては最初から内蔵している場合もありますが、多くの場合、別途購入が必要です。
また、USB ポートを備えるパソコンであれば、USB 接続タイプの装置も選択できます。
規格は 10BASE-T 又は 100BASE-TX であれば対応できます。

3. LAN ケーブル(ストレートタイプ)



機器を相互につなぐケーブルです。ストレートケーブルを選択します。

4. ハブ(パソコンを複数台接続する場合のみ)



パソコンを 2 台以上接続する場合に必要です。
LAN ケーブルを接続するコネクタを複数備えています。

5. ADSL モデム



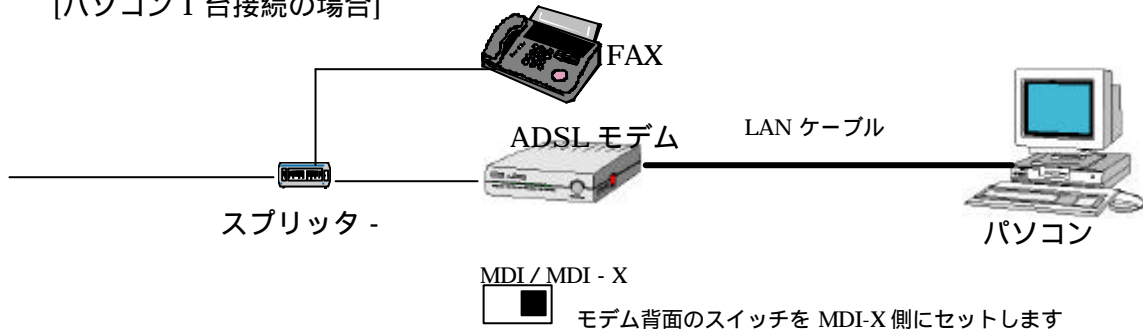
パソコンとプロバイダ間を有線を使って高速通信するための装置です。
パソコン側の LAN カードに LAN ケーブルで接続します。
情報いずもで用意したモデムを買い取っていただく形になりますので、お客様で用意していただく必要はありません。

機器の接続

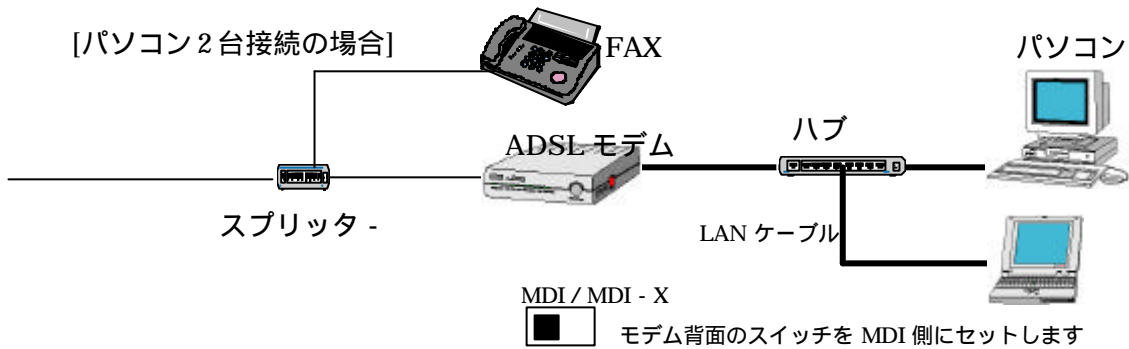
宅内に引き込んだ有線回線はまず、スプリッター - という装置(ADSL モデムに付属)に接続します。ここでインターネット通信の信号と通常の音声信号を分離し、FAX・スピーカへのケーブルと ADSL モデムへのデータ通信ケーブルが分岐します。

ADSL モデムからは LAN ケーブルを使ってパソコン側 LAN カードのコネクタに接続します。

[パソコン 1 台接続の場合]



[パソコン 2 台接続の場合]



ADSL のケーブル接続図

